「学生時代に力を入れたこと」自動作成フォ－マット

|  |
| --- |
| **STEP１　大学時代にやったことを洗い出す** |
| **◎　大学時代にやったことを一つ一つ思い出しながら書き出す。**  　例）学業（勉強），ゼミ，サ－クル，アルバイト，ボランティア，学内イベント（学園祭，オ－プンキャンパス　　等），インタ－ンシップ，趣味，資格取得・スキルアップ，旅行（国内・海外），家業の手伝い，友人関係        **◎　上記の中から，以下の項目について一つずつ選んでいく。**  ・もっとも時間を費やしたこと。  ・もっとも情熱を注いだこと。  ・もっともお金をかけたこと。  ・もっとも多くの人を巻き込んだこと。  ・目標を設定し，それに向かって取り組んだこと。(目標を達成していなくてもかまわない。)  （注）大学時代になければ，高校，中学とさかのぼって考える。 |
| **STEP２　選んだネタを詳しく思い出す** |
| １　「何を」頑張った？（まずは大きなくくりで）  　例）大学公認のフットサルサ－クルの活動  ２　いつからいつまで「１」をやったか  　例）大学１年から現在  ３－１　なぜそれを始めたのか  　例）大学公認のフットサルサ－クルの活動  ３－２　過去からの継続であればいつからいつまで  　例）小学校４年生から始めて１０年  ４　「１」のために具体的にどんな取組を行ったか（「１」を詳しく分解）  　例）週３回の練習／毎月の試合／年２回のリ－グ戦／２年からレギュラ－／３年次合宿責任者 |
| **STEP３　具体的にどんな行動をとったか** |
| **５　「４」の中でもっとも頑張ったのはどの取組か。**  　例）合宿の企画と運営  **６　「５」の時は，どんな立場だったか。**  　例）合宿の責任者 |
| **STEP４　その時の行動をさらに深掘り** |
| **７　「５」を詳細に思い出して具体的に書いてみよう（その時に自分がとった行動　 を順番に列挙）**  　例）合宿の企画を立てる／みんなの意見を収集／意見のとりまとめ／現地での試合相手との交渉／合宿所との　　 予算折衝／往復バスの手配／代金の回収／酒・つまみの手配  **８　「７」を実行するに当たって，どんな問題や課題があったか。（自分がもっとも　 苦労したことを中心に書き出す。）**  　例）合宿の開催目的があやふやだった／みんなが言いたい放題で意見がまとまらなかった／２年と３年に壁が　　 あり意見が衝突した |
| **STEP５　課題や問題にどう対処したか** |
| **９　「８」で挙がった課題に対して，自分は何を考えたか（どんな考えやアイディ　 アを持って取り組んだか）**  　例）このままでは２年と３年で分裂し，合宿自体が成り立たなくなってしまう／１年生がついてこない  **１０　「９」で考えて実際にとった行動を詳細に順番に書き出す（そのときに自分　 がとった”行動 ”を詳細に具体的に列挙）**  　例）部長と相談した，部員全体と個別に話した  **１１　「１０」をとった結果，どのようになったか（自分の行動がもたらした結果，　 成果，影響について示す）**  　※　必ず成功していなくてもかまわない。  　※　定量的に示せるものであれば数値で  　例）個別に話したことで部員の本音が聞けた／サ－クルの目的と合宿の目的に一貫性を持たせることが大事だ　　 とわかり，みんなで考える場を作った。 |

|  |
| --- |
| **STEP６　難しい問題から何を学んだのか** |
| **１２　「１０」，「１１」を通じて具体的に何を学んだのか。**  例）目的の重要性／無目的に人が集まっているだけではまとまらないし，何も生み出せない。／目標への落と　　し込み  **１３　ここまで書き出してきたことから考えられる自分の行動の特徴（良い点も悪　 い点も）**  例）八方美人になりがち／意外と聞き上手／一度決めると頑固なまでに最後までやり続ける  **１４　ここまで書き出してきたことから考えられる自分が改善すべき点は何か（ど　 う改善したらいいか具体的に考えてみる。）**  例）立場の違う人からも意見を聞き，ものの見方に柔軟性を持たせる  **１５　「１２～１４」で書き出したことかを志望する会社の中でどう生かしていき　 たいか（具体的に希望する会社の中で働く自分をイメ－ジして考える。）**  　例）営業マンとしてお客様の話をじっくり聞き，お客様のニ－ズを引き出していく。／どのような困難な商談　　 であってもあきらめない。 |

|  |
| --- |
| **STEP７　STEP１～６を組み合わせて文章にしよう** |
| 私が学生時代にもっとも力を入れたことは，  「１」　　　　　　　　　　　　　　　　　　における  「４」　　　　　　　　　　　　　　　　　　である。  そのとき私は「５」　　　　　　　　　　　　　　　という立場でかかわった。  具体的には「７」　　　　　　　　　　　　　の活動をしていく中で，こんなこと  「８」　　　　　が起こった。  その時私は，「９」　　　　　　　　と考え，「１０」　　　　　　　　を行った。  その結果，「１１」　　　　　　　　　　　　　　　となった。  これらの経験を通じて，「１２」　　　　　　　　　　　　　　を学んだ。  「１３」：自己PRの材料  「１４」：自分の短所の材料  「１５」：志望動機の材料 |

出典「もうダメだと思ったときから始まる就活大逆転術」戸山孝著　青春出版社